納所弁次郎氏

選曲

## 校歌永遠の幸

永遠の幸朽ちざる誉 つねに我等がうへにあれ

人となしし我庭に よるひる育てあけくれ教へ

\*

友たれ永く友たれとなった。 うちつれて進むは今ぞ イザイザイザ

北斗をつかんたかき希望は

深雪を凌ぐ潔き節操 時代を照す光なり 国を守る力なり は

(※繰り返し)

不朽を求め意気相ゆるす 真理正義おつべしや

山は裂くとも海はあすとも

我等丈夫此にあ (※繰り返し) ń

有島武郎在学中の明治三十三年の作。

注

共に近代日本唱歌史に大きな足跡を残した。) 納所弁次郎(一八六五 大和田建樹 (一八五六 - 一九三六) は作曲の面で、 一九一○)は作詞の面で、